

issue+design

さかわものづくり大学（高知県佐川町） 運営・デザイン人材を募集へ



「社会の課題に、市民の創造力を。」をテーマに社会課題をデザインの持つ美と共感の力で解決するissue+ designは、「さかわものづくり大学」のメンバーとして、主に高知県佐川町で働く新しい仲間を、高知県佐川町との協働で、2015年10月1日より募集開始いたします。

| メッセージ |

issue+designでは、2014年より高知県佐川町の地方創生プランづくり、総合計画策定のお手伝いをしております。その佐川町の地方創生の核が「デザイン×テクノロジー×林業」で新しいものづくりに挑戦する「さかわものづくり大学」です。

既に活動ははじまっており、ここから生まれた第一弾のプロジェクト「WriteMore：勉強したくなる机（<http://issueplusdesign.jp/writemore/>）」は2015年のミラノサローネに出品され、カンヌクリエイティブライオンでも入選し、Good Design Award 2015も受賞しました。

2016年春より、主に高知県佐川町に勤務しながら、代表の対他issue+designメンバーとともに、佐川町地域おこし協力隊として、本「さかわものづくり大学」を運営してくれるスタッフを募集いたします。

| 主な仕事内容 |

市民および観光客参加のものづくりワークショップの企画・実施

ものづくり大学（佐川駅前の中心市街地内の歴史的建造物を改築・使用予定）の運営

佐川産木材、食材、植物等の素材を用い、レーザーカッター・3Dプリンター等によるものづくりの試作
町内の小学校で実施予定のデザイン・電子工作・プログラミングを学ぶ「佐川ロボット動物園」の運営
サポート

その他、issue+designメンバーとして、他地域の業務の企画・運営・サポート

| 詳細URL |

<http://issueplusdesign.jp/news/2015/entry2015>

【募集要項】

| 必須スキル |

以下3つのスキルが身についていること、これから身につける熱意があることが求められます

1. コミュニケーション：
地域住民の方の話しを聞き、気持ちを理解し、こちらの意図を伝えるスキル
2. ファシリテーション：
ワークショップ全体、テーブル内での対話を促し、声を引き出し、まとめるスキル
3. プロジェクトマネジメント：
進捗を管理し、チーム内外を調整し、プロジェクトをゴールへ推進するスキル

以上3つに加えて、以下のいずれかのスキルが現在身についており、残りのスキルを今後身につける熱意があることが求められます

1. プロダクトデザイン
2. プログラミング
3. 電子工作
4. デジタルファブリケーション（レーザーカッター、3Dプリンター等）

| 勤務地 |

高知県佐川町

- ・活動拠点はJR佐川駅徒歩5分に位置する江戸時代に建築された歴史的建造物内を予定
 - ・月1回程度、東京もしくは神戸等の他地域への出張あり
- ※なお、高知県佐川町に住民票を動かすことを必須条件とします

| 勤務条件 |

- ・週5日勤務が基本（ただし、イベント等で土日祝日の勤務もあり）
- ・週4日は佐川町地域おこし協力隊として、他の日はI+Dの他業務を実施することを想定
- ・生活に必要な住居の無償提供（町の指定）
- ・活動に必要な車両の無償貸与（ただし、職務に関連した使用に限ります）
- ・報酬は経験・スキルに応じて相談（月額20万～）

| 募集人数 |

2名

| エントリーの条件 |

- ・2016年4月1日時点で満20歳以上の方（性別不問）
 - ・現在、三大都市圏をはじめとする都市地域（詳細は要確認）に在住している方で、高知県佐川町へ生活拠点を移し、住民票を異動できる方
- ※なお、この募集は採用が決定次第応募を締め切らせていただきます

| 開始時期 |

- ・2016年4月より、佐川町にて勤務を開始
- ・2016年1-3月は試用期間と位置づけ、アシスタントとして必須スキルを身につけて頂く期間とします（この間の給与は経験・スキルによって相談）

| 問い合わせ先 |